

校歌

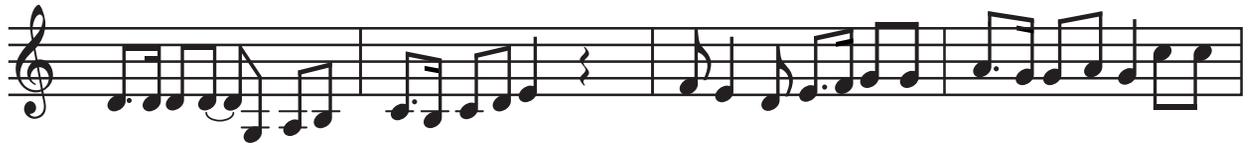
当真清利 作词
作曲



おおぞらはれて ひのひかーり



わだつみとおく かがーやけーば



しおのとたかき おかのえに わかきいのちの ゆめのせておお



しくたーてーるま なーびやは わー



れらけんじのぼこうなれ

一、 大空晴れて 日の光

わだつみ遠く 輝けば

潮の音高き 丘の上に

若き生命の 夢のせて

雄々しくたてる 学び舎は

我ら健児の 母校なれ

二、 四方の緑を 心にて

学ぶ三歳の 文の道

共働自主の 旗のもと

いにし祖先を しのみつつ

知徳をすすめ 身をきたえ

創りおこさん 新文化

三、 いざ立て友よ 手を取りて

四海をかける 若鷹の

猛きつばさは 我が力

試練の道は 続くとも

平和の光 さす彼方

きわめ果さん この使命